

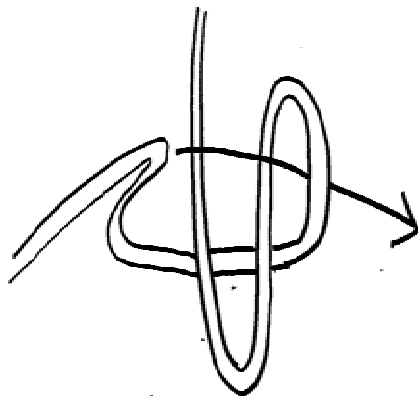
2008ぶなの会レスキュー訓練レジメ

懸垂下降の仮固定 フリクションノットによる登り返し

懸垂下降をしていて、下を見るとロープがこんがらがっていて、どうやら片手では解けそうもない。とか、ルートを誤り、下が釜だったり、ロープが下まで届いてなかったりして登り返さなければならない場合を想定。

仮固定の方法

- その1 レッグループのピナでターンさせ下降器上部の2本のロープの間に入れ
グルグル巻き
- その2 レッグループのピナでターンさせミュールノット
- その3 8環グルグル巻き
- その4 8環ロープ交差
- その5 足にグルグル巻き



ミュールノット

技術書などで数種類紹介されているので、試してみましょう。

フリクションノットによる登り返し

クレムハイスト、プルージック、など

スリングの長さ、ピレイループに取り付けた上部のフリクションノットの位置など

負傷者を降ろす

A 振り分け救助(介助懸垂・背負い懸垂)

デイジーチェーンで振り分けシステムを作り、負傷者を連結して1ターン(または2ターン)で懸垂。

負傷者が歩ける場合……介助懸垂

負傷者が歩けない場合…背負い懸垂



1ターン懸垂(振り分けのデイジーではなくヌンチャクを使用した画像)

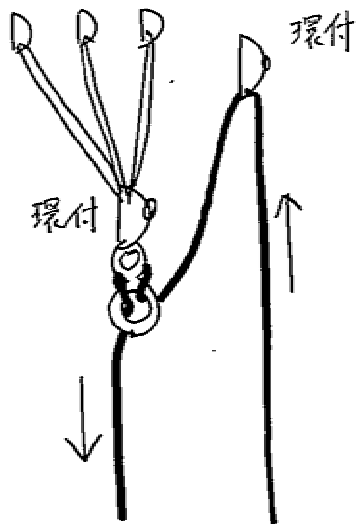
介助懸垂で救助される杉山わたる氏



B ディスタンスブレイキ

負傷者の上部に救助に入れる者が二人以上いる場合、1人が救助に向かい、もう1人がその下降をコントロールします。救助者は救助に専念することが出来ます。(負担が減る。)

パーティーaがマルチピッチを登攀中、下を登っているパーティーbのトップが墜落。自己脱出不可。ロープは半分以上出ているロープダウン不可。bのセカンドはパニックって全く使えない状態(後述の「リーダーレスキュー」不可)を想定



パーティーaによるシステム構築

コントローラーによる救助者のみのロープダウン(負傷者の位置まで)

救助者は負傷者を連結

コントローラーによる救助者 + 負傷者のロープダウン(下部テラスまで)



C セカンドレスキュー

セカンドが登攀中に落石被弾などにより行動不能に陥った場合、トップが降りて行って救助を行う。トップの行動は前半のビレイシステムからの自己脱出と、後半の振り分け救助の2つのパーツに分けて考えるとわかりやすいと思います。

セカンド墜落。ビレイデバイスにテンションがかかりロックされる。

(以降、トップの行動)

2本のロープのうち、テンションがかかっている方(テンションロープ)にフリクションノットをセットしてアンカーに固定。

ロック解除。テンションはビレイデバイスからフリクションノットのアンカーへ移行。

テンションロープにエイトノットを作り、アンカーに固定。

新たにセルフビレイをとり、ハーネスのロープを2本とも外す。

テンションのかかってないロープ(フリーロープ)の末端にエイトノットを作りアンカーに固定。

振り分け救助システムをフリーロープにセット

負傷者の箇所までフリーロープを使用して懸垂下降

負傷者を連結。テンションロープをカット。

下のテラスまで振り分け懸垂で下降。

D リーダーレスキュー

リードしているトップが墜落し、ローダウン不可で自力で登り返すことが出来ない場合、セカンドがトップを救助しに行くことになります。

セカンドの自己脱出 + セカンドの登り返し + 振り分け救助の3つのパーツに分かれます。

トップ墜落。ロープにテンションがかかる。

(以降、セカンドの行動)

ビレイデバイスの仮固定をして、両手が自由に使えるようにする。

2本のロープのうち、テンションがかかっている方(テンションロープ)にフリクションノットをセットしてアンカーに固定。

ビレイデバイスの仮固定を解除。テンションはフリクションノットのアンカーに移行。

テンションロープにエイトノットを作り、アンカーに固定。

新たにセルフビレイをとり、ビレイデバイスのロープを外し、ハーネスのロープを2本とも外す。

テンションロープにフリクションノットまたはアッセンダーをセット。
(テンションのかかってないロープ(フリーロープ)にはバックアップをセットし、トップの箇所まで登行。

最終ランナーまたはトップの上部付近で支点を補強・アンカー設置

フリーロープを引き上げ、末端をアンカーに固定

振り分け救助システムをフリーロープにセット

負傷者の箇所までフリーロープを使用して懸垂下降

負傷者を連結。テンションロープをカット。

下のテラスまで振り分け懸垂で下降。

負傷者を上げる

ライジングシステム1 / 3

ライジングシステム1 / 5

カッコつけて「らいじんぐ」とか呼んでいるそうですが、引き上げのことです。降ろすよりも上部に引っ張り上げた方が早く、安全な場合、このシステムを使って救助を行います。

弥さんからのメールに添付されているデータを参照。